

目 次

第11章 消 去 法

§ 77. 1元多項式系の終結式系.....	1
§ 78. 一般消去法.....	3
§ 79. ヒルベルトの零点定理.....	6
§ 80. 同次連立方程式の可解条件.....	8
§ 81. 惰性形式.....	11
§ 82. n 変数の n 個の同次形式の終結式.....	16
§ 83. u -終結式とベズーの定理.....	19

第12章 可換環のイデアル論

§ 84. 基底律と約鎖律.....	22
§ 85. イデアルの積と商.....	27
§ 86. 素イデアルと準素イデアル.....	32
§ 87. 一般分解定理.....	38
§ 88. 分解の一意性.....	43
§ 89. たがいに素なイデアル.....	48
§ 90. 単様イデアル.....	54

第13章 多項式イデアル

§ 91. 代数的多様体.....	59
§ 92. 代数函数.....	64
§ 93. 素イデアルの零点.....	67
§ 94. 次 元.....	72
§ 95. 準素イデアル.....	75
§ 96. ネターの定理.....	78
§ 97. 高次元イデアルの場合.....	88
§ 98. 純イデアル.....	92
附 多様体の次数および多様体と線形空間との交点.....	97

第14章 代数的整数

§ 99. 有限 R -加群.....	104
§ 100. 環の上の整的要素.....	107

§101.	体の整的要素	111
§102.	公理主義による古典的イデアル論の基礎づけ	117
§103.	前節の結果の逆と補足	122
§104.	分数イデアル	126
§105.	任意の整閉整域のイデアル論	128

第15章 線形代数学

§106.	加群, 1次形式, ベクトル, 行列	135
§107.	斜体上の加群, 1次方程式	142
§108.	ユークリッド環の上の加群, 単因子	147
§109.	アーベル群の基本定理	152
§110.	表現と表現加群	158
§111.	可換体上の行列の標準形	162
§112.	単因子と特有方程式	167
§113.	2次形式とエルミート形式	170

第16章 多元環論

§114.	多元環	179
§115.	多元環と作用子をもつ群	183
§116.	零ベキイデアル	187
§117.	根基をもたない環の完全可約性	190
§118.	両側分解と中心の分解	197
§119.	完全可約加群の自己準同型環	201
§120.	半單純環の構造	205
§121.	基礎体の拡大	209

第17章 群と多元環の表現論

§122.	問題の所在	217
§123.	多元環の表現	219
§124.	中心の表現	225
§125.	スプールと指標	227
§126.	アーベル群の表現	230
§127.	有限群の表現	234
§128.	群指標	239
§129.	対称群の表現	247
§130.	1次変換の半群と基礎体の拡大	252

目 次

5

§131. 多元体論への表現論の応用.....	257
§132. 多元環類群, 分解体の特徴.....	264
§133. 接合積, 因子団.....	268
人名索引	279
事項索引	281
訳者あとがき	285